

# 脱炭素ライフスタイルを目指して 一緒に活動しませんか？

## ●会費

会員の会費として、一口の年額を次のとおりとします。入会金として初年度会費に加え会費1年分をいただきます。

① 個人会員	2,000 円
② 団体会員	5,000 円
③ 事業者会員	10,000 円
④ 学生会員	無料

## ●お申込み方法

フォームからお申込みいただくか、入会申込書をダウンロードし必要事項をご記入の上、お問合せ先に E メール、FAX 又は郵送にてお申し込みください。

## ●会員特典

協議会の会員には、①事業者、②団体、③個人、④学生の4つのカテゴリーがあり、様々な入会メリットがあります。

I ホームページ、出店ブース掲示物への企業名、団体名の掲載	①②
II 協議会ホームページとのリンク	①②
III 自社の環境課題に対する次世代からの提案（マッチング会への参加）	①②
IV 自分たちが企画する脱炭素セミナーへの開催支援	①②③④
V 協議会の事業や活動への参加	①②③④
VI 横浜市、神奈川県等の脱炭素関連の情報の提供	①②③④

## 役員名簿

代表理事	松本真哉	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授
理事	氏川恵次	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授
理事	大川哲郎	大川印刷株式会社 代表取締役社長
理事	大場真弥	とつかエココーディネーター協議会
理事	窪田和弘	日天株式会社 企画販売促進部次長
理事	黒水公博	（社）海外環境協力センター技術主任
理事	小坂庸介	東京電力エネジーパートナー株式会社
理事	佐藤一子	特非）ソフトエネルギープロジェクト理事長
理事	仙保隆行	（社）横浜市地球温暖化対策推進協議会 IT・広報担当
理事	知足章宏	フェリス学院大学グローバル教育学部国際社会学科教授
理事	肥後貴美子	熊野の森もろおカスタイル代表
理事	牧野和敏	（社）横浜市地球温暖化対策推進協議会 事務局長
幹事	神名 圭	横浜信用金庫常務理事

## 会員数

事業者会員  
40名

団体会員  
11名

個人会員  
25名

(2025年9月現在)

## 沿革

2006(平成18)年10月19日 任意団体「横浜市地球温暖化対策推進協議会」設立

2018(平成30)年12月3日 「地球温暖化防止活動環境大臣表彰 対策活動実践・普及部門」受賞

2025(令和7)年4月1日 法人化「一般社団法人横浜市地球温暖化対策推進協議会」設立

発行：(一社)横浜市地球温暖化対策推進協議会

発行日：2026(令和8)年2月

活動の詳細は  
こちらから



Zero Carbon Yokohama

横浜で

脱炭素  
ライフスタイル  
はじめよう

地域との共創

次世代へ

地球を大切に



(一社)横浜市地球温暖化対策推進協議会

# 横浜で 脱炭素ライフスタイル はじめよう

## 横浜市地球温暖化対策推進協議会とは？

事業者・団体・個人が一体となった当協議会は、横浜市の地球温暖化対策実行計画を実現するための一翼を担う組織として、横浜市の施策との連携を図り、家庭及び市内中小企業における「節電・省エネの推進」、「脱温暖化行動の推進」の取り組み実践と参加者の拡大に向けた普及啓発の継続実施を柱として活動しています。

横浜市はもとより区役所、市内各大学、YES 協働団体などの連携にも力を入れています。



横浜市地球温暖化対策推進協議会は、地球温暖化対策推進法第40条第1項に基づく地域協議会です。

持続可能なカーボンニュートラルな環境未来都市の実現に向けた活動主体の1つとして、省エネや再エネなど、市民や事業者に対して、脱炭素ライフスタイルの実践に繋がる様々な啓発活動に取り組んでいます。

## 横浜市18区・区民まつり等への出店

区民まつりなど市民の身近な場所で開かれるイベントに出店し、ワークショップ、展示、パンフレット配布などにより、来場者に脱炭素ライフスタイルの実践や温暖化対策の大切さを訴えています。出店は、協議会と会員事業者・会員団体が協働で出店しています。



## 市民の意識を分析「脱炭素ライフスタイルアンケート」の実施

イベントの来場者を対象に、年間3000人以上に「脱炭素ライフスタイルアンケート」を行い、回答者に記入しながら日常生活での脱炭素への意識や取り組みを振り返っていただきます。また、アンケートの回答を集計・分析し、今後の普及啓発活動に活かしていきます。



## 企業×学生 環境課題解決マッチング会

環境課題を解決したい企業・団体と、現実社会の課題に取り組みたい学生を公募し、交流会や企業訪問などを通して、学生側は提案先を選び、提起された課題への提案内容をまとめます。企業・団体・学生が一堂に会する提案発表会では、学生側の提案発表を審査し優秀な提案を表彰します。



## 脱炭素まちづくり地区事業

横浜市が温暖化対策実行計画を先行的に実施する事業を公募し、協議会が青葉区しらとり台地区を対象地区に選び提案したものが採択されたもので、令和6年度からの3か年事業です。太陽光発電の設置を促進を中心に、再エネ切替え、断熱、省エネ、など脱炭素につながる様々な取組を実施しています。



## 脱炭素経営支援

企業・団体の脱炭素経営の取組みは、サプライチェーンの連鎖の中で中小企業にまで広がっています。セミナーや交流会を開催し、会員企業とともに、脱炭素に向けた経営戦略の推進を支援します。



## 脱炭素ライフスタイルを身近に！

脱炭素ライフスタイルを横浜市全域にひろげていくには、市民の身近な地域で様々なテーマ・様々な手法で、取組を活性化させることが大切です。2030年までに温室効果ガス排出量を50%削減、2050年までにゼロにする目標に向けて取組みを促進します。

### ● 地域セミナー支援

横浜市内の地域における様々な脱炭素の取組を活性化することを目的に、会員団体や会員個人によるセミナーや学習会などの開催、地域の人たちに脱炭素を呼びかける活動を支援しています。

### ● 廃食油回収

家庭から出る廃食油は多くが捨てられていますが、CO2カーボンニュートラルなエネルギーとして SAF やバイオ燃料などとして活用できます。地域団体や会員企業・団体と協働で廃食油回収を実施しています。

### ● ハマウイング見学会

風力発電所「ハマウイング」は市民参加型の「ハマ債風車」で建設された横浜市唯一の風力発電所です。ハマウイングの役割を知り、実際にタワー内部を見学することで、再生可能エネルギーの可能性を体験することができます。

